

# 品質・環境報告書

## 2016



中京化成工業株式会社

# 活動レポート(品質・環境) - 2016 -

中京化成工業(株)は、1999年11月26日にISO9001の認証取得に続き、

2004年6月18日にISO14001の認証を取得しました。

2016年度も品質と環境のマネジメントシステムの確実な運用を目指して、品質目標と環境目標を可能な限り統合して設定するように努めました。

また、2015年版改訂にも早期に対応すべく本年度にはISO9001の移行に取り組み、移行を完了しております。

## 品質・環境方針／品質・環境目標

### 品質・環境方針

当社は、品質・環境マネジメントシステムの最上位の「基本方針」に当社の取り組む決意と姿勢を表明すると同時に、より具体的に、かつISO9001、ISO14001規格に適合した「品質・環境方針」をまとめて制定しております。

「品質・環境方針」 2016年6月制定

#### 品質基本方針

- ① 我社の製品は常に優秀である。
- ② 我社は製品の品質で勝負する。

#### 環境基本方針

- ① 我社は自然と共生することに最大の関心を払う。
- ② 我社は環境配慮型製品の開発を進める。

#### 品質・環境方針

1. 当社の各事業活動、製品及びサービスを踏まえた品質・環境マネジメントシステムを構築します。また、蓄積された潤滑理論をベースに自動車関連、グリース関連、工業用機械関連、金属加工関連、離型・剥離剤関連、洗浄剤関連などの分野で顧客と地域社会に貢献します。
2. 変化する諸条件及び情報を反映した品質・環境目標を事業年度毎に設定し、運用し、定期的に見直すことにより、品質・環境マネジメントシステムの有効性の継続的改善に努めます。
3. 環境法規、条例、規制や当社が合意したその他の要求事項を順守します。
4. 顧客満足の上昇、環境負荷の低減と汚染の予防及び環境保護に努めます。
5. 全従業員に教育訓練と啓蒙活動を実施すると共に、ビジネスパートナーに対しても理解を求め協力して運用します。

2016. 6. 1

中京化成工業株式会社

代表取締役社長

廣野 拓

**2016年度 品質・環境目標**

「品質・環境方針」をベースに、当社の管理できる活動、製品、サービスから特定された「著しい環境側面」、法的及びその他の要求事項、更には利害関係者の見解等を配慮して「**全社目標**」を設定しています。

また、その「**全社目標**」の達成に向けて各年度に「品質・環境目標」を決めて対応し、その施策の実現に取り組んでおります。

**全社目標（品質）**

- ①顧客重視
- ②品質（Q、C、D）管理の向上
- ③供給者との互惠関係の強化
- ④予防処置

**全社目標（環境）**

- ①環境配慮型製品の開発と販売促進
- ②資源・エネルギー・廃棄物の削減
- ③法規制及び組織が同意するその他の要求事項の順守
- ④予防処置

部 門	品質・環境目標	
	内 容	目 標 値
営業1部	顧客における要望をくみ上げた環境配慮型製品を新規製品化する	年間売上 6,100万円
営業2部	顧客の要望している環境配慮型製品の販売 { 汚れ対策油・油煙対策油・臭気対策油・再生油・ CLフリー油・鉛フリー油・ボンデフリー油・他 }	年間売上 7,500万円
営業3部	顧客の要望する環境配慮型製品の開発・拡販	年間売上 4,500万円
業務購買部	外注先要因によるクレームの防止	0件
	半製品の管理	整合率 90%
製造部	オイル工場製造時の調整件数の削減	2015年対比 70%以下 (27件以下)
	オイル工場都市ガス使用量削減	年間 24,000 m <sup>3</sup>
	グリース工場重油使用量削減	2015年度対比 99%以下
技術研究所	研究開発第1課 顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発	8件 1,900万円
	研究開発第2課 顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発	11件 1,100万円
	研究開発第3課 顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発	10件 1,200万円
	技術部 SDSの更新(JIS Z7253対応)	100%
品質保証部	検査－品質の向上（色規格範囲の状況の監視）	昨年度 3～4LOT 製造品全て
	電気使用量の削減	2015年度以下
総務部	受注及び入力ミスの削減	0件
全社	予防処置	6ヶ月に1件以上 年間2件以上

2016年度 品質・環境目標&実績

各関係部門において「品質・環境目標」を設定し、その達成に向けて取り組みました。仔細は次頁の通り。

部 門		環境目的	取組年数	目標	実績	評価	
1. 増	営業1部	顧客の要望している環境配慮型製品の販売	③	年間売上 6,000 万円	6,708 万円	\(^o^)/	
	営業2部	顧客の要望している環境配慮型製品の販売	⑦	年間売上 7,500 万円	6,103 万円	m(_)_m	
	営業3部	環境配慮型製品の開発・拡販	⑦	年間売上 4,500 万円	4,975 万円	\(^o^)/	
	技術研究所	研究開発第1課	顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発	③	8 件 1,900 万円	7 件 1,729 万円	m(_)_m
		研究開発第2課	顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発	③	11 件 1,100 万円	11 件 1,045 万円	(^_^)
		研究開発第3課	顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発	③	10 件 1,200 万円	16 件 1,211 万円	\(^o^)/
		技術部	SDSの更新(JIS Z7253 対応)	①	100%	100%	(^_^)
	品質保証部	検査一品質の向上	③	昨年度製造 LOT 数 3~4 を対象	100%	(^_^)	
全社	予防処置	⑤	年間 2 件以上 [年間 2 件 × 10 部門]	7 件	m(_)_m		
2. 減	業務購買部	外注先要因によるクレームの防止	⑩	年間 0 件	3 件	m(_)_m	
		半製品の管理	②	整合率 90%	93%	\(^o^)/	
	製造部	オイル工場製造時の調整件数の削減	③	2015 年対比 70% 以下 (27 件以下)	8 件	\(^o^)/	
		オイル工場都市ガス使用量削減	①	年間 24,000 m <sup>3</sup>	25,842 m <sup>3</sup>	m(_)_m	
		グリース工場重油使用量削減	②	2015 年対比 99% 以下 (25,641L 以下)	27,900L	m(_)_m	
	品質保証部	電気使用量の削減	⑤	2015 年度実績以下	2.0% 増	(^_^)	
	総務部	受注及び入力ミスの削減 (重点得意先リストの作成)	②	年間 0 件	1 件	(^_^)	

評価の凡例

\(^o^)/ : 目標値を 10% 以上達成しました!  
 (^\_^) : ほぼ目標値  
 m(\_)\_m : 目標値の 90% 以下に終わりました

各部のコメント

テーマ	部門	達成率(目標対比)	コメント
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業1部	110.0%	当社ユーザーへの取り込みを確実に実施できたことで目標達成ができました。
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業2部	81.8%	本年度は当初目論んでいました製品が実績計上に至らず大変厳しい結果となりました。少しずつ顧客に認知されてきている製品もあるので、更に顧客要求を満足できるような製品開発を目指します。[修正目標 6,600万円に対しての達成率は92.9%]
環境配慮型製品の開発・拡販	営業3部	110.6%	本年度は年間目標を達成することができました。一製品が全体の70%とかなりの割合となっております。他の案件もわずかながらではありますが増加しておりますので、次年度は更に案件数を増やして目標達成に取り組めます。
顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発	研究所1課	件数: 87.5% 金額: 91.0%	製品化に至った案件は他にも数件ありましたが、拡販が進まず計上にまで至りませんでした。次年度は大型案件に積極的に取り組んでいきたいと思えます。
顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発	研究所2課	件数: 100.0% 金額: 95.0%	登録した製品や予備軍を見ると安定した売り上げを計上できず、その場限りとなるものも多く見受けられます。ロングセラーになる製品の開発が必要と感じる結果となりました。
顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発	研究所3課	件数: 160.0% 金額: 100.9%	本年度は大きな案件が少なく小さな案件が多い傾向でしたが目標を達成することができました。次年度は新規ユーザー開拓を行い、目標達成を目指します。
SDSの更新(JIS Z7253 対応)	技術部	1,392/1,392 (件)	本年度内に対象製品のSDSを更新することができました。
検査—品質の向上	品質保証部	127/127 (件)	累計で127件の製品を調査して27件の見直しを実施しました。
予防処置	全社	7件/20件	7案件中4案件は複数の部門での共同案件となっております。内、2件が3部門以上での共同案件となっております。(8部門は目標達成、2部門が未達となりました。)

各部のコメント

テーマ	部門	達成率(目標対比)	コメント
外注先要因によるクレームの防止	業務購買部	3件	過去の事例をチェック結果として、本数不足、外装の傷、ラベルの汚れが発生していました。発生事例に対する改善内容を継続して監視し、緊張感のある状態を保っていきたいと思います。
半製品の管理	業務購買部	103%	下期以降は目標達成できた月が続き、半製品に対する意識の向上を感じました。
オイル工場製造時の調整件数の削減	製造部	338%	昨年の発生件数の74%が、粘度不良・添加剤の溶け残りでした。本年度は十分な加熱と攪拌を行い、発生件数を削減できましたが、まだ、粘度不良・溶け残りが発生します。更に次年度も取り組みます。
オイル工場都市ガス使用量削減	製造部	92.9%	2～4月は噴き出し口(高中低圧)の改造と調節ができず、使用量が多くなり、結果後々まで影響し目標未達になりました。
グリース工場重油使用量削減	製造部	91.9%	グリース生産量が昨年対比で10%以上増加しましたので、その影響で重油使用量も増加してしまいました。
電気使用量の削減	品質保証部	97.6%	今年度は単月で6ヶ月は目標を達成しましたが、残りの6ヶ月及び累計で目標が未達となりました。ただし、デマンド値は引き下げることができております。
受注及び入力ミスの削減(重点得意先リストの作成)	総務部	1件	4月に発生した1件は悔いが残るものでしたが、その後は入力ミスは発生0件で推移することができました。良い緊張感が働いたと考えます。



中京化成工業株式会社

CKK CHUKYO KASEI KOGYO CO., LTD.

ISO9001:2015 (JQA-QM3984)

ISO14001:2004 (JQA-EM4081)

〒448-0008

愛知県刈谷市今岡町西吹戸 10-1

TEL: (0566)36-3690 (代表)

FAX: (0566)36-6156

URL: <http://www.c-k-k.co.jp>

10-1, Nishifukido, Imaoka-cho

Kariya-City, Aichi-Pref., JAPAN

TEL: 0566-36-3690 (General Line)

FAX: 0566-36-6156